

株式会社 アイティープロデュース

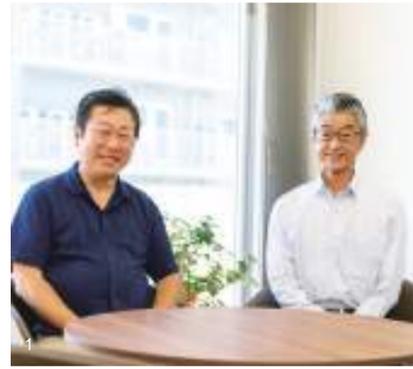
●アプリケーション、RPAの受託開発など



22
LEADING COMPANY

時代に合った企画提案力で リモートビジネスを全国展開

ITを駆使し、時代に合った企画提案力で企業の業務を支援する《株式会社アイティープロデュース》。ニアショア開発体制を構築し、全国どこからでも受注できるリモートビジネスを展開している。



1 出雲支店をオープンする際、糸原代表取締役(左)が頼ったのが、小中学校の同級生だった高橋秀幸専務。転職し、友人の挑戦に一肌脱いだ。今も信頼し合う関係だ 2 未経験者でも成長できる教育環境が整っており、社を挙げてスキルアップをサポート 3 平均年齢は31.4歳と若く、社内は活気にあふれている

「ニアショア」進め しんきん優良企業の最優秀に

創業は2007年。東京のソフトウェア開発会社でプロジェクトマネジャーだった糸原賢二代表取締役が起業し、東京にオフィスを構えた。前社で得た人脈を生かし、当時急速に普及が進んでいたインターネットバンキングのシステム構築や、損害保険会社や証券会社の業務支援システム構築など、金融業界をメインに徐々にシェアを拡大していった。

しかしIT業界はエンジニア不足が課題となっており、特に大手志向の強い若者の求人は難しかった。そんな折、糸原代表取締役の生まれ育った島根県から企業誘致を呼びかけられた。「島根は真面目な人が多いのに、若い人が働く場所が少ないのが気になっていました」と糸原代表取締役。両者の思惑が合致する形で13年、出雲支社がオープンした。

当初から糸原代表取締役の念頭にあったのが、首都圏にあふれている仕事を地方で担う「ニアショア」だ。「当時大手ベンダーはインドなどの海外企業にアウトソーシングする「オフショア」を行っていたが、言語や文化の違いからトラブルになるケースが少なくなかった。知名度浸透や技術力向上を地道に進めながらソフ

トウェア開発をメインに請け負い始め、15年には国内大手電気通信事業者の業務を受注。コロナ禍で一気に各社のデジタル化が進むと、先駆的にニアショア体制を構築してきた同社への受注は右肩上がりとなった。ビジネスプロセスの自動化を推進するRPA開発サービスにも取り組んできた。請求書の処理や顧客データのエントリー作業、在庫管理など定型業務の自動化は、コスト削減や生産性向上、ヒューマンエラーの減少にもつながり、近年多くの企業が導入。いち早くサービス提供を進めてきた同社への信頼は厚く、現在は年間50件以上の納品を誇る。

これらの取り組みなどが評価されて25年3月、中小企業の優れた技術やサービス、経営力を称える「2024年度しんきん優良企業」(東京都信用金庫協会など主催) 製造業部門の最優秀賞を受賞。都内の信用金庫が計1万2000社の取引先から選んだ会社を顕彰する制度で、予想していなかった快挙となった。糸原代表取締役は「都内でも知名度が一気に上がりました」と笑顔を見せる。働く環境整備にも力を入れている。本人の希望や業務に応じて在宅勤務を選べるほか、副業も自由。服装の規定もない。25年度からは社員の奨学金の一部を会社が負担する返

済支援制度もスタートした。残業が多いイメージのIT業界だが、業務の効率化などを推し進め、月の平均残業時間は6.7時間に抑えている。近年は毎年10人前後を採用し、全社員の半数以上は20歳代。平均年齢は31.4歳と若く、社内は明るい雰囲気にも包まれている。

近隣同業他社との合同IT実務研修やメンター制度、オンライン研修システムなど教育制度が充実しているため、未経験者の採用も多い。キャリアマップに合わせた研修計画があるほか、合格時の一時金支給などの資格取得補助制度があり、社員の成長をサポートする体制が整っている。現在、松江と広島にも支店を置くほか、出雲開発センター、江津サテライトオフィスを設置。25年1月には大阪支店を開設、今年度中には米子にも拠点を設ける予定だ。今後はさらに名古屋、博多への展開も視野に入れている。「以前は都市圏の大きな仕事を地方が受けるという形でしたが、今は出雲で取った仕事を広島や東京のメンバーに頼むなど、さまざまなパターンで業務を行っています。各拠点のトップに責任移管を進め、東京から西を営業エリアとして展開できるように一層飛躍したい。自信に裏付けされた確実なビジネスだ。

株式会社 アイティプロデュース

創業 平成19(2007)年4月3日
代表者 代表取締役 糸原 賢二
社員数 94名(男70名 女24名)
本社 東京都台東区台東4-11-4
三井住友銀行御徒町ビル6階

事業内容

アプリケーション、RPAの受託開発など

勤務地(採用エリア)

出雲市、東京都、松江市、
広島県、江津市、大阪府

採用区分

新卒採用 キャリア採用

インターンシップ・キャリア

有 通年で開催。申込は採用サイトのエントリーフォームから。

採用担当者からあなたへ

当社はプログラミングやRPAなどの技術でお客様の業務を効率化する会社です。ITの専門職ですが、入社後に3か月間の研修を用意しているので、ITが好きなら誰でも歓迎です。転職はなく在宅勤務や副業もOKなので、プライベートも充実させたい人には向いている会社です。

情報システム部 主任
田中 渉さん

採用に関するお問い合わせ先

0853-25-8105

公式サイトは
こちら



求人サイトは
こちら



自分を伸ばせる職場環境

Q. プログラミングが未経験でも働けますか？

A. 入社後3か月間は、県内同業他社と合同でスキル研修を実施するので、ITの知識がゼロでも大丈夫です。研修では、ベテランのIT技術者が講師を務め、情報処理の基礎知識やプログラミングなどを学びます。その後は社内先輩社員に1年間、メンターとしてサポートしてもらいながら、実務を経験していただきます。



IT未経験者でも確実にスキルアップを積める研修・教育制度が整えられている

Q. 在宅勤務ができますか？

A. プロジェクトによってはセキュリティの関係上できないこともありますが、基本的には可能です。現在全社員の約3割が在宅勤務を選択しています。普段は出勤し、天候や家庭の都合などに合わせて臨機応変に在宅に切り替える社員もいます。月に一度は、各拠点の全社員が顔を合わせてミーティングする機会も設けています。



JR出雲市駅前にある出雲支社。基本的には在宅勤務が可能で、全社員の約3割が選択している

Q. ワーキンググループ(WG)について教えてください。

A. 働く環境改善や、社員のコミュニケーション活性化などを狙い、社員が自主的に活動しているグループです。現在、出雲支社に5グループあり、各メンバーは4~5人程度。例えば、イベントのWGは月に一度の全体会議に合わせてボウリング大会を企画したり、新入社員サポートWGはメンターの人選に携わったりしています。



ボトムアップが活発な社風。業務はもちろん、レクリエーションなども若手社員が企画して盛り上げている

Q. 奨学金返済支援制度があるそうですね。

A. 若手社員の経済的負担の軽減を狙って、2025年度から大学や専門学校の奨学金の返済を支援する制度をスタートしました。新卒者は100万円、中途採用(経験者)は150万円の上限で、入社1年目から支援を行います。早期返済に役立ててもらい、結婚や出産などのライフイベント計画も立てやすくなればと考えています。



2025年から会社独自の奨学金返済支援制度をスタート。若手社員の経済的なサポートにも力を入れる

頼れる若手IT技術者たち

丁寧な研修体制で、文系出身でもIT技術者に

広島で心理学を学んでいたが、卒業後はリターンしてものづくりに関わる仕事を考える中、当社に出会った。「プログラミング未経験でも受け入れてくれるIT企業と知ってインターンシップへ。ニアショアに力を入れている点などに惹かれました」

入社後は、他社との合同研修でIT関連の基礎的知識を学んだ後、メンターのサポートを受けながら実務に従事。「最初はわからない用語ばかりで戸惑うばかりでした」と苦笑しつつ、「先輩方に尋ねると、皆さん手を止めて丁寧に答えてくれるので少しずつ成長できている気がします」と続ける。現在は4人のチームで、自治体向けシステム改修を担当。残業が少なく完全週休二日制のため、友人との時間も大切にできている。



出雲支社 情報システム部
2023年入社



異業種から転身。充実した研修でSEスキルを獲得

「自宅の方が業務に集中でき、往復1時間半の通勤時間もカットできる」と在宅ワークを選択。月に1週間程度は出勤し、同僚とのコミュニケーションや情報収集を行っている。自動車保険商品を紹介するウェブシステムや、博物館展示品の閲覧サイトなどのアプリケーション開発に携わってきたほか、各種カスタムアプリケーションも担当。顧客からトラブルの相談があれば原因を調べ、システム上で対応するのも業務の一つだ。

設備工事会社の現場監督から転身。新入社員と一緒に研修を受け、情報処理の基礎から学んだ。「最新の知識と技術を丁寧に教えてもらったのでスムーズに業務をスタートできました」



出雲支社 情報システム部
2016年入社



スキルアップ目指しやすい職場環境

東京で約3年間エンジニアとして勤務。地元での転職を考えた時、幅広いキャリア人材が活躍する当社が目に入った。「業界未経験の方もいると聞き、スキルアップを目指しやすい環境に惹かれました」

経験者のため入社後の約1か月は研修を兼ねて「Ruby on Rails」を使った簡単なアプリを開発。「先輩のアドバイスを受けながら実務で生かせる知識を教えてくださいました」。現在は、メーカー系企業で使われている各種ソフトのアップグレードなどを担当。東京では満員電車で約1時間かかった通勤が、今は自転車ですら15分。臨機応変に在宅勤務に切り替えられ、カジュアルな服装で出勤できる点も気に入っている。



松江支店 情報システム部
2023年入社



一度は諦めたエンジニアの道を実現

ゲーム好きだった子どもの頃から、キャラクターや場面が動く仕組みに興味を覚え、大学では情報技術を専攻。卒業後は異業種での勤務を経た後、大阪でプログラマーとして約1年半経験を積み、帰郷した。「社長と社員との関係が近い社風が、自分に合っている気がして入社を決めました」

システムエンジニアとして県内外企業の工程管理システムや通勤申請システムを構築。江津に拠点ができただけは、自ら異動を希望した。「地元の祭りでeスポーツ大会が開催されるなど、ITに熱心な自治体のイメージでした。仕事としても地元企業のお手伝いができれば」。昨年は応用情報技術者を取得。スキルアップにも動いている。



江津サテライトオフィス 情報システム部
2016年入社

